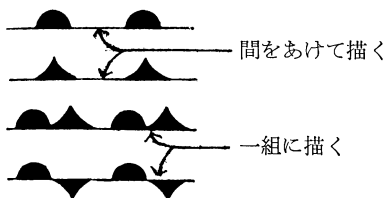


天気図解析記号の一部改正について

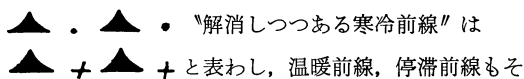
気象庁で作成している天気図の記入型式・解析記号等はWMOが国際的に定めたものに準拠していますが、その改正に伴って、昨年11月1日から、解析記号の一部が改正されました。

改正の主な点は次のとおりです。

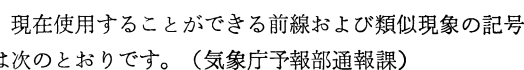
「解析面における寒冷・温暖・閉塞・停滞前線」は、それぞれ



とし、「解析面より上の前線」は上記記号を白ぬきにして表わします。また、「発生しつつある寒冷前線」は



「解消しつつある寒冷前線」は



「発生しつつある温暖前線、停滞前線もそれに準じます。」
現在使用することができる前線および類似現象の記号は次のとおりです。(気象庁予報部通報課)

(現象)	(一色の場合)	(多色の場合)		
(1) 解析面における寒冷前線	↑		}	
(2) 解析面より上の寒冷前線	↑			(青)
(3) 発生しつつある寒冷前線	↑			
(4) 解消しつつある寒冷前線	↑			
(5) 解析面における温暖前線	↑		}	
(6) 解析面より上の温暖前線	↑			(赤)
(7) 発生しつつある温暖前線	↑			
(8) 解消しつつある温暖前線	↑			
(9) 解析面における閉塞前線	↑		}	
(10) 解析面より上の閉塞前線	↑			(紫)
(11) 解析面における停滞前線				
(12) 解析面より上の停滞前線				
(13) 発生しつつある停滞前線			}	
(14) 解消しつつある停滞前線				(交互に赤と青)
(15) 不安定線			}	
(16) シャー線				(黒)
(17) 熱帯収束帯 (両半球の貿易風の会合する狭い地帯)			(橙)	
(18) 熱帯不連続 (非常に暑い乾燥した大陸性の気団と赤道地方からのより冷い湿った気団とを分ける不連続)			}	
(19) 気圧の谷の軸				(黒)
(20) 気圧の尾根の軸				

(注) 2本の横線は収束帯の幅を、縦線は活動域を示す。